



## 地域の宝を次世代へ。 交流の輪で紡ぐ、七浦の豊かな未来

里から海へ、水路でつながる稀有な生態系を守っているのは、未来を思いやる人々のやさしさと、泥にまみれて遊ぶ人たちの笑顔でした。

### 有明海と歩んできた七浦の暮らし 迫る環境の変化が、町の活気に影を

佐賀県鹿島市の南部に位置する七浦地区。多良岳山系から湧き出す伏流水が里を潤し、海へと続く水の流れが豊かな生態系を育んでいます。

この水の流れを受け止める有明海は日本最大の干満差をもつ、広大な泥の干潟。地元の人々は、親しみを込めて干潟を「ガタ」や「まえうみ」と呼びます。

干潟に面した「道の駅鹿島」の駅長、下村浩信さんは七浦のご出身。「私が小さいころは、毎日のように漁師の叔父につくってもらった押し板でガタにくり出していました」と、当時のことを覚えてくれました。

押し板とは、泥の上を移動するのにまた、河口では地域の有志が伝統の「うなぎ塚」を設置し、地元の高校生らと共に生息調査を実施。伝統の知恵が今の海の価値を再発見させてくれる契機になっています。

### あたりまえの景色を地域の誇りへ この指止まれで繋ぐ七浦のファン

七浦の各所で続けられてきたこれらの保全活動は、誰かに命じられたものではありません。自分たちの手でこの環境を守り、未来へ手渡したい。そんな一途な想いが活動の原動力。

鹿島市役所の室井利允さんは、こうした取り組みを、次の世代へ、どう引き継いでいくかが、今後の大きな課題だと語ります。

「自然の営みを守ることは、そこで育まれる子どもたちの感性を、そして地域そのものの未来を守ることだと考

用いる道具のこと。有明海などの泥深い干潟では、この板に乗って、ムツゴロウ漁や貝採りが行われていて、下村さんもハイガイやアゲマキといった貝をよく採っていたそう。ところが近年は環境の変化により、干潟に生息する魚介類が減少。産業の低迷により、町そのものも活気を失っていきました。

### 「生業の海」から「遊びの場」へ 視点の転換が干潟の環境を救う

その状況を打破しようと、地域おこしの一環として始まったのが「ガタリンピック」です。干潟を舞台に大人も子どもも泥まみれになって楽しむこの祭典は、2024年に40周年を迎え、今や地域の代名詞。現在は、道の駅鹿島に隣接する干潟交流館で「干潟体験」も受け付け、気軽にガタに触られる



「ななつら 干潟とめだかの里」関係者のみなさま。

えています。その上で、過疎化で担い手が減っていく現実にも向き合わなければなりません。地元の方ももちろん、遠くに住む人も含めて『七浦のファン』を増やしていくこと。それが、今後の鍵になると思うんです」

命が関わり合う環境を未来へ。この地で育まれた郷土愛こそが、豊かな自然を支える一番の力となります。



「自然共生サイト」に申請した理由とメリット  
変わりゆく時代の波のなか、希少な動植物が息づく生態系を次世代へ繋ぐことは簡単ではありません。「自然共生サイト」の認定は、住民が守り続けた活動を称えるバッジになります。この目に見える証が、地元に対する一人ひとりの誇りと呼び愛まし、地域外へ七浦の価値を届ける力になると期待しています。

機会を提供しています。

「人がガタの呼吸を助ける」。現場で指導にあたるインストラクターの中島英貴さんは、そう確信を込めます。

春の「がた開き」前に、中島さんが泥をかき混ぜて、ガタの中にたまった硫化水素を抜き、その後、ここを訪れた人々が、ガタに足を踏み入れるこ

とで、泥の中に酸素が入り込む――。

海流が弱まった現代、このアクションこそが健全な環境を維持する力になるのだそう。一般的に人の立ち入りは生態系への負荷とされますが、ここ七浦では、人の賑わいが生物生息環境の保全活動に直結するのです。

### 守り、つないできた水辺の営み あちらこちらに息づく地域の財産

この保全の心は、里山エリアでも根づいています。

かつて農業用水路の三面コンクリート化計画が持ち上がった際、「生き物がいなくなる」と反対の声を上げたのが中島直道さんでした。

「生き物が棲めぬ場所では子どもの感性は育たん」と、行政を説得し、自然石の「石積み」を死守。大きな石の隙間は生き物の逃げ道や棲家となり、今も水路には、ミナミメダカやカワナが群れています。



メダカたちを守るために維持している「石積み」の用水路。

### 環境再生保全機構 担当者から

干潟・河川・水路を一体的に捉え、鹿島市を中心に地域の多様な主体が協力して保全と活用を進める取組は、他地域にも参考となる好例です。生物多様性の保全と伝統文化の継承が両立している点も注目です。

申請者 / 鹿島市
実施区域・面積 / 佐賀県・3.114ha
活動類型 / 生物多様性の維持
生物多様性の価値 / ①③④⑤⑥⑦⑧⑨
URL / <a href="https://michinoekikashima.jp/main/">https://michinoekikashima.jp/main/</a>



同サイトの活動中のエピソードや解説動画は、左記からご覧ください。